



(シンボルマーク)

平成27年  
第21号

3 / 15

# あくしゅ

〈発行・編集〉  
座間市男女共同参画推進委員会  
座間市市民部広報広聴人権課  
〒252-8566 神奈川県座間市緑ヶ丘1-1-1  
☎046 (252) 8087 (直) ☎046 (252) 0220

再生紙を使用しています。

## 2014 IN ZAMA イイ男★ フォトコン結果発表



最優秀賞

- イイ男フォトコン結果発表 …………… (1面)
- パートナーとのコミュニケーションについて … (2面)
- 男女共同参画についての市民意識調査 … (3面)
- 活動報告 …………… (4面)
- あくしゅフォーラム開催報告 …………… (4面)
- こ〜ひ〜ぶれいく …………… (4面)
- 全国会議について …………… (4面)
- お知らせ …………… (4面)

### 男女共同参画社会とは？

男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的および文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」です。

(男女共同参画社会基本法第2条)

ペンネーム ゆうまばば コメント 保育園行事にも積極的に参加してくれます。



イクメン部門

ペンネーム ココア  
コメント 休日は、いつも子供達を遊びに連れて行ってくれます。



イクジイ部門

ペンネーム はるあき  
コメント 生後一か月の孫  
じーじとはお風呂も一緒です。



カジ男部門

ペンネーム ともりん  
コメント 慣れない料理に真剣にそして楽しんで取り組んでくれています。

**イクメン** : 育児を楽しむお父さん  
**イクジイダン** : 育児を楽しむおじいちゃん  
**カジ男** : 家事に積極的に取り組む男性



※コメントは応募者からのものを掲載しています。

昨年度の「あくしゅ」では、さとり世代の現役高校生から、若い世代の男女共同参画意識がいかに進んでいるか伺い、その背景とともにご紹介しました。今年度はその上の年代に焦点をあて、「イイ男フォトコン」を初めて行いました。たくさんのご応募ありがとうございました。ご応募いただいた写真は、幅広い年代で男女共同参画が着々と進んでいるなよりの証です。

イイ男の裏にはイイ女あり、イイ女の裏にはイイ男あり。イイ男やイイ女の根っこには良好な人間関係があり、これは信頼とコミュニケーションで培われるものです。お互いを信じる心からコミュニケーションが生まれます。イイ男やイイ女になるためのヒントは、次ページに。

# みんな悩んでいる パートナーとの 「コミュニケーション」

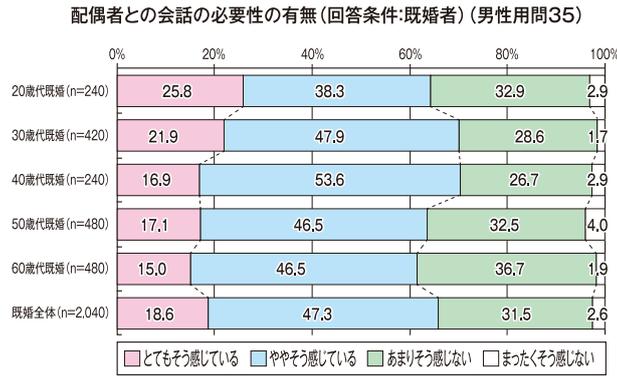


家庭内で相手のためを思っているのか、迷惑になってしまふ：そんな経験がありませんか？

たとえば、夫が食器洗いや洗濯物を干した時に感謝されるどころか、文句を言われたり、忙しい相手の代わり、良かれと思って片付けたら「並べ方が違う」と言われたり等々、相手が相手に上手く伝わらないこととってありますよね。今回はいくつかのデータからパートナーとのコミュニケーションの観点で家庭円満のコツを探ってみました。

## パートナーとの会話が仕事に奪われている

右下のグラフ（図1）は正規職員と従業員の週間就業時間の推移について調べたものです。昭和62年から比べると全体的に労働時間は短縮傾向にあります。昭和62年よりも週43時間以上働いている方が多く、特に、週49時間以上働いている方が、全体の40%強にもなり、これでは帰宅しても平日に家族とのコミュニケーションをとるのは難しく雇用主側にも就労形態の改善を求めていく必要性があります。

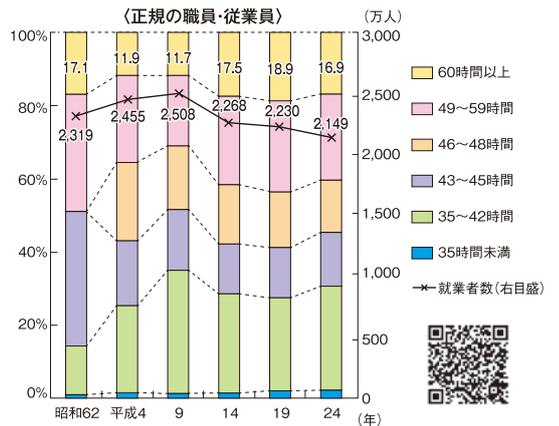


(図2) 男女共同参画白書平成26年版 P286(14) 配偶者との会話の必要性の有無を色付け加工して作成

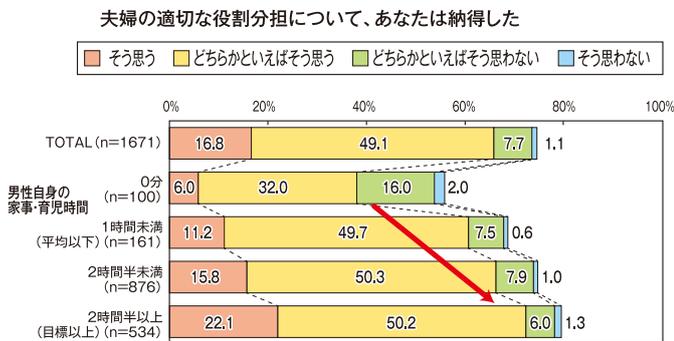


次のグラフ（図2）は既婚男性に聞いた配偶者との会話の必要性の有無についてです。

## パートナーとの会話は必要？不必要？



(図1) 月刊総合情報誌「共同参画」(内閣府発行) H26年7月号P6, 第6図を色付け加工して作成



(図3) 内閣府「ワークライフバランスに関する意識調査」結果・速報についてP18夫婦間の「話し合いの納得度」と家事・育児時間【男性調査・正社員】を色付け加工して作成



このグラフからは話し合いの納得度と男性自身の家事・育児時間が比較していることが分かります。

## きちんとして話しているあなたの役割

全体でも半数近くの方が必要性を感じていますが、特に30代から40代が強く感じていて「とてもそう感じている」「ややそう感じている」を合わせると70%近くの方が配偶者との会話を必要と感じているようです。これはこの世代に子育て中の夫婦が多いためだと思います。

## 皆さんに聞きました！「夫婦円満の秘訣は？」

最後に昨年11月に行われた座間市民ふるさとまつり会場内で「夫婦円満の秘訣」を来場者にお聞きしました。上位は、「思いやる」「我慢」「家事をする」「距離感」でした。

アンケートの結果から相手を尊重し、思いやる姿が見えてきます。他にも「一緒に出かける」「会話を大切にしている」「一緒にいる時間を大切に」などの時間の共有を大切にしている回答も多く寄せられました。逆に若い世代からは、「秘訣があるなら知りたい」との声も聞かれました。

連れ添えば連れ添うほど空気のようになくなってしまい、いつのまにか会話もなくなってしまうことが分かっていって感じることはありませんか？

少しでも時間を作って、お互いが努力して相手のことを思いやり、時間の共有や会話をしながらパートナーとの意識のズレを防いでいくことが家庭円満のコツのようです。

# 男女共同参画のまちの市民意識調査



市民意識調査

平成二十六年度

男女共同参画社会というと、女性への差別の問題を扱うように感じる方が多いと思いますが、女性だけではなく、男性にとっても自分らしく生きやすい社会の形成を意味します。

そのために社会制度や慣習を見直し、根強い「男は仕事」「女は家庭」などの性別による役割分業意識を払拭する必要があります。多くの施策が展開されてきています。この「あくしゅ」の発行もその一つです。市民意識調査にも毎回「男は仕事」「女は家庭」についての考え方をいれ、施策の参考にしてきました。

今回の調査結果は、図1をご覧ください。

全体では「どちらかといえば反対」が最も多く、32・4%、次いで「反対」22・6%となっています。あわせて55・0%と回答者の半数以上が「反対」の意思を示しています。これに対して、「賛成」(5・3%)、「どちらかと言えば賛成」(22・4%)と賛成派は、27・7%でした。また、男女別・年齢別にみると、すべての性別・年齢で反対派が賛成派を上回っています。

(他の表等は図1横のQRコード、または市役所ホームページをご覧ください)

(1) 「男は仕事、女は家庭」といった考えについて

問24 「男は仕事、女は家庭」といった考えがあります。あなたはどうか考えますか？  
【1つだけ選んでください】

○ 反対    □ どちらかといえば反対    □ どちらかといえば賛成    □ 賛成    □ わからない    □ 無回答

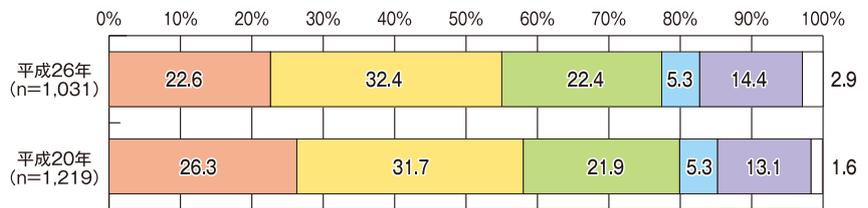
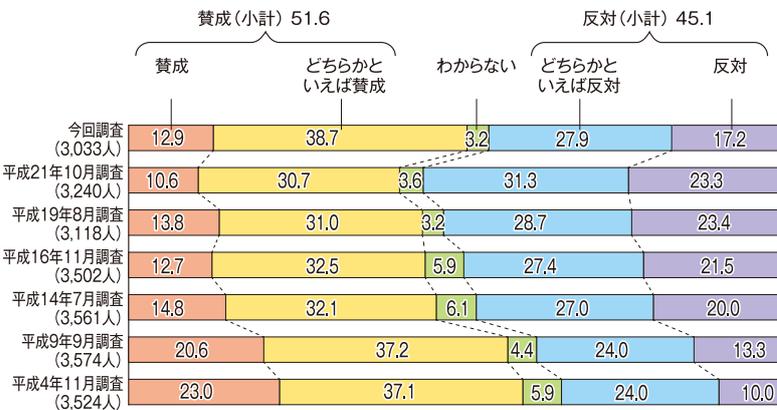


図1 市民意識調査(H26年8月)P59「6.男女共同参画について」を色付け加工して作成



内閣府が行った全国調査(平成24年)と比較してみましよう。賛成派が51・6%、反対派が45・1%と賛成派が上回っています。これは、男性の賛成派が55・1%と反対派を上回っているためです。女性は賛成派48・4%、反対派48・8%と拮抗している状況です。以上のことから、全国レベルよりも、座間市の市民の意識は固定的な性の枠組みにとらわれていない、ということが言えます。 (下段図)

図14 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について



男女共同参画に関する世論調査「内閣府」  
二 調査結果の概要  
二 家庭生活等に関する意識について  
を色付け加工して作成



さて、現在は、男性の生き方の問題にも目が向けられています。男は仕事を頑張り、弱音を吐けないといった意識がストレスをため込み、自殺の要因の一つとなっていることが指摘されています。長時間労働のため、仕事以外の時間がとれないという現実の問題もあります。男性も家庭生活や様々な社会活動に参加できる、すなわち、男女とも仕事と生活のバランスの取れる社会の形成が求められています。



## 本の紹介



家庭や仕事場などで女性と男性が言葉交わす時に、言葉が通じないとか、なんで想定外の反応が返ってくるのかお互いに不思議に思うことってよくありませんか？

2人の脳科学者が、このすれ違いの原因を脳科学の観点から解説して、さらに具体的な対処法まで教えてくれる本が3冊続いて出版されました。

このような違いの原因について脳の構造上の違いの観点から丁寧に説明してくれているのは「キレる女 懲りない男」男と女の脳科学(黒川伊保子著(ちくま新書)です。(画像右上)

特に夫婦間でのすれ違いの原因と具体的な対処法については、同じ著者の「夫婦脳」夫心と妻心はなぜこうも相容れないのか(新潮文庫)が詳しいです。(画像中央下)

家庭から職場まで幅広いシチュエーションでの対処法については、「察しない男 説明しない女」男に通じる話し方(女子に伝わる話し方)五百田建成(ディスカヴァー・トゥエンティワン)が詳しくすぐ使えるフレーズも豊富に紹介されています。(画像左上)

職場や家庭でのコミュニケーションで、なんでこうなるの?どうしたらいいの?ともやったり、苦労している方、どれか1冊でも手に取ってみてはいかがでしょうか?



# 活動報告 平成26年度

6月22日(日)  
『あくしゅフォーラム』の開催  
市民文化会館(ハーモニーホール座間)大ホール  
講演『自分らしく生きる』  
講師 吉永みち子氏(ノンフィクション作家)

6月23日(月)～29日(日)  
『男女共同参画週間』  
市民サロンの特設啓発ブースで、男女共同参画の意識や考え方についての紹介とDVDの上映

6月27日(金)  
『男女共同参画社会づくりに向けての全国会議』  
日比谷公会堂にて行われた、内閣府男女共同参画局主催の会議に出席

11月2日(月)  
座間市民ふるさとまつりで、男女共同参画に関する市民の皆さんへの意識啓発

平成27年3月  
情報紙『あくしゅ』の発行  
企画・編集は平成26年夏ごろから随時

日本人初の女性競馬新聞記者となり、その後、専業主婦を経てノンフィクション作家へと復帰された吉永みち子氏にご講演を頂きました。

男女共同参画社会という言葉が出てくる前の「男らしく・女らしく生きる社会」では、「自分らしく生きる事」は尊重されませんでした。

男社会の中に入り名刺を作ってもらっても「姉ちゃん」と呼ばれて、女性が固有な名詞で呼ばれることが難しいと感じました。男性も仕事や肩書が無くなると、「粗大ゴミ」「ぬれ落ち葉」などと呼ばれ、ようやく「自分らしく生きて来なかった」と気付く点では同じ

## 第12回 あくしゅフォーラム 開催報告



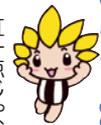
吉永みち子氏

でした。

男だから女だからという性別にかかわらず「自分らしく」が問われる時代へと変化している今こそ、自分は何をしたのかをしつかりわかつていることが必要です。でもまだ、世間の壁が立ちばかり、自分らしく生きにくい社会であることも事実です。人の数だけ生き方があります。お互いの色を尊重し、認め合える社会の実現を願っていますと、熱く語られました。

### 男女共同参画社会に向けての全国会議「行ってきまいた」

#### 6月27日に日比谷公会堂で開催。テーマ「女性と男性で輝く社会へ」



足りない。×家事場のパパチカラ」

第1部は基調講演が2本で、まず森まさこ内閣府特命担当大臣(男女共同参画)兼女性活力・子育て支援担当大臣(当時)から政府の女性活躍の施策についての最新情報が紹介され、次にブルース・ミラー駐日オーストラリア大使から、実施中の女性活躍の施策が成功例として紹介され、平成23年新設の「女性と少女のための大使」が、国内とアジア太平洋地域の女性の貧困や文盲といった男女格差の是正に取り組んでいることも紹介されました。

第2部はパネルディスカッションで、パネリストは岡藤正広(伊藤忠商事)、川村隆(日立製作所)、白井明子(ローソン)、塚越学(ファザーリング・ジャパン)の4氏、コーディネータは、飯田香織氏(NHK)。仕事での女性活躍について各社の現状や対策の紹介があり、女性の意識が従来から大分変わっていることや、最近の調査結果で新入男性社員の7割が育休を取りたいと考えており、男性の家庭科履修の影響との見解が示されました。「男性の意識改革、女性も自覚をもつ事が大切」が飯田氏の結びの言葉となりました。

情報紙「あくしゅ」のバックナンバーはこちらから！  
(PDFでご覧になれます)



様々な相談・支援窓口の紹介「あくしゅインフォメーション」はこちらから！



「男性権力の神話」ワレン・ファレル 作品社

全米で30万部のベストセラーになったこの本の翻訳版がようやく一昨年日本で出版された事に興味を持ちました。

男性ゆえのつらさ、差別などをいつの間にか、その見えないつらい壁に囲まれて、出られなくなつた状態が指摘されています。最近やっと日本でも父子家庭の問題や、過労死など男性のつらさを取り上げられるようになりまして、男性の場合「権力」があると言われている事でなかなか問題にされないことが問題です。

つらい毎日を送っている男性や、男性学に興味がある方にオススメです。

※QRコードが使用できない方は、座間市ホームページ「トップページ」→「市政情報」→「人権・男女共同参画」からでもアクセスできます。